

4

特集 WOC領域におけるエコーテクニック ～褥瘡エコーの使い方・読み方・ケアへの活かし方～

褥瘡エコーの 実際と工夫

那須ユキエ

医療法人三和会 東鷺宮病院 検査科 科長

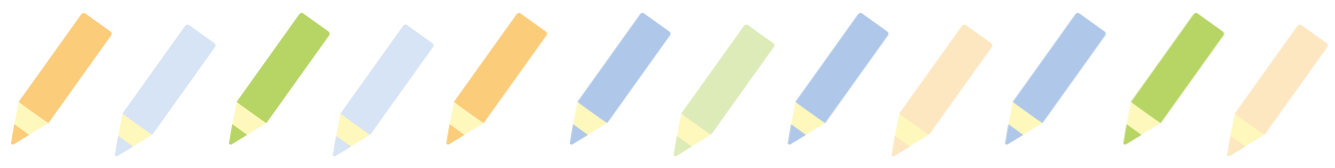
Point

- ▶ 褥瘡エコーに適した機器の調整をしよう
- ▶ 交叉感染の予防をしよう
- ▶ 褥瘡エコーならではの所見記載を試してみよう

はじめに

腹部エコーや心エコーなどはルーチン検査としてハード面や検査技術面において確立されたものがあります。しかし褥瘡エコーは他のエコーと違い、はっきりした方法論が未確立であるため、浅い部位の鮮明な画像の描出条件やカラードプラの設定（別項で解説）を決める必要があります。ま

た、傷そのものにプローブをあてて検査するという特殊性があることから、交叉感染を予防する手立てを考慮しなければなりません。さらには得られた情報を他のスタッフと共有するために、褥瘡エコーならではの記載方法など独特の工夫が必要となります。以下に各々に関して述べます。



検査機器の設定

プローブは、浅い深度領域の観察に向くりニア型 (7.5 MHz 以上) を選択します (表1)。

設定例

当院では、画像調整のための設定を以下のようになっています。

- Depth (深さ)：視野深度 3～4 cm 程度。
- Gain (輝度)：適正レベルに調整して、皮膚、筋肉、

脂肪などの組織を鑑別しやすくします。

- ダイナミックレンジ (コントラスト)：筋肉組織の筋膜などがはっきり描出されるようにダイナミックレンジを若干狭めて設定します。

以上のような褥瘡エコー用の設定をプリセットとしてメーカーに依頼して組んでもらうとよいでしょう。

表1 プローブの種類

	リニア型	コンベックス型	セクタ型
主な周波数	7～12 MHz	3.5～7.0 MHz	2.5～5.0 MHz
分解能	良	リニア型より劣る	コンベックス型より劣る
視野幅	近距離の視野幅は広い 広域の視野幅は狭い	広い	近距離の視野幅は狭い 広域の視野幅は広い
減衰	強い	しにくい	しにくい
使用部位	浅い領域に向く 甲状腺、乳腺など	主に腹部に向く 血管エコーにも使用される	主に心臓に向く
褥瘡エコーには？	◎		

交叉感染予防の工夫

褥瘡にエコーをあてる際には交叉感染を防ぐための対策が大切です。

プローブの工夫 (図1)

プローブ全体を食品用ラップで覆うのがポイント

トです。その際、プローブとラップの間に空気が入るとアーチファクトの原因になるため、あらかじめプローブにエコーゼリーを塗ってからラップで覆うようにします。